



4月臨時会
6月定例会

一般会計補正予算・条例改正 ②～③

戸建災害公営住宅の購入契約を締結 ④～⑤

町政のここが聞きたい〈9人が一般質問〉 ⑧

一般会計補正

巨理小学校プレハブ校舎整備に係る既存施設解体・改修工事等に

6億5,266万6千円を追加

歳入歳出予算総額は320億5,666万円に

の赤字になる。今後の経営戦略は。 高野 進議員 当初から赤字予算であり、今後の営業収支好転の方向付けが不明である。 高野 進議員 補正予算は当初から1300万円

反対討論

高野 進議員 当初から赤字予算であり、今後の営業収支好転の方向付けが不明である。 高野 進議員 補正予算は当初から1300万円

6月定例会は6月18日から6月23日までの6日間の会期で開催されました。

町からは議案15件、諮問2件、報告7件が提出され、慎重審議の結果、議案14件、諮問2件が可決・答申され、巨理町副町長定数条例の一部改正案が否決されました。主な内容を紹介します。

平成26年度6月補正予算の主な事業

Table with 2 columns: 事業名, 金額. 巨理小学校プレハブ校舎整備に係る既存施設解体、改修工事等 9,800万円, 商業施設集積整備事業 (築港通り賑わい回廊商店街) 6,200万円, 巨理保育所エアコン設置工事費等 3,200万円, 観光交流拠点整備事業 (わたり温泉鳥の海駐車場舗装復旧工事等) 3,000万円, 防災備蓄倉庫整備事業 (巨理高校敷地内) 1,500万円

鞠子幸則議員 災害時要援護者の名簿を作成するが、自主防災組織民生委員、区長と個人情報をごのよう共有化するののか。 福祉課長 障がいのある方等要支援者から登録申請をいただき、同意があれば自主防災組織、民生委員、区長に提供します。 個人情報については災害対策基本法で秘密保持義務が設けられています。 高野孝一議員 オリーブ関係の旅費が60万円と高い。どの団体に委託するのか。 また将来の生産量や経費など採算が合うのかを考え、予算を投入する必要があると思うが。 農林水産課長 福岡市やいわき市などの栽培先を農業改良普及センター職員、まちづくり協議会職

員、町職員等での視察を検討しています。委託先は農業改良普及センターや宮城県農業園芸試験場等と相談しながら決めていきます。 企画財政課長 オリーブの産業化が町の資源として可能かどうか先進地視察等を含めて検討していきます。 佐藤正司議員 鳥の海灣の防災整備が未着工である。早期完成が望まれるが、復興庁との協議の経緯と今後の見通しは。 農林水産課長 国・県により26年度から27年度にかけて復旧工事が施工されることになっていきます。町においても、27年度で防災緑地整備にかかる詳細設計を考えていきます。



巨理小学校既存施設

条例改正

わたり温泉鳥の海の入浴料金の引き下げ

わたり温泉鳥の海設置および管理に関する条例の一部改正

提案理由 日帰り入浴再開に向け、多くの方々に入浴していただくべく、従来の大人入浴料金800円を500円に、子供入浴料金400円を250円に見直すなど条例の一部を改正するものです。(全員賛成で可決)

鞠子幸則議員 震災前、午後7時以降の入浴料は500円であり、健康センターの入浴料は300円であった。これを考えるところの料金の見直しは妥当か。 商工観光課長 従来の入浴時間は午後10時まででしたが、再開時は午後8時までとし、夜間料金の設定を廃止したいと考えています。

町税条例

提案理由 今年10月に予定されている「わたり温泉鳥の海」の一部再開に伴い、日帰り入浴客の入湯料率を追加するため、条例の一部を改正するものです。(全員賛成で可決)

鞠子幸則議員 今後、宿泊業務が再開された時に、宿泊150円と日帰り入浴50円の入湯料は変わらないのか。 税務課長 わたり温泉鳥の海は観光拠点施設という観点から150円の入湯料を設定していました。今回の日帰り入浴に関しては公益性の観点から、50円の課税を行います。今後とも変わりません。

町営住宅条例

提案理由 災害公営住宅



27年度から県に管理代行する町営住宅 (袖ヶ沢住宅)

および既存町営住宅の管理について、宮城県住宅供給公社に管理代行を依頼するものです。(全員賛成で可決)

佐藤アヤ議員 町営住宅も宮城県住宅供給公社へ管理代行を依頼するが、滞納状況等のデータもすべて移行されるのか。 また、県に管理代行することに、住民に対

する説明会を今後設けていくのか。 都市建設課長 平成27年4月から宮城県住宅供給公社へ管理代行を依頼することになります。滞納状況等のデータも移行することにになりますので、入居者の方々には説明会を開催し、個別に相談を受けていきたいと考えています。

副町長定数条例

提案理由 本格化する震災復興事業の推進に向け、本町体制の一層の強化を図るべく、副町長の定数を1人から2人にするものです。(賛成3人 反対14人で否決)

小野一雄議員 副町長の報酬年額は約900万円になる。貴重な財源を見出すためにも、現在いる役場OBである専門官を有効に活用すべきだと思うが。 総務課長 専門官は現在6人います。これまで培ってきた経験を生かし、課長と班長の間で一緒に仕事をしていたり、ことごとくお願いしています。 熊田芳子議員 副町長を1人増やすのであれば、若い職員を2〜3人活用し、復興に携わることも

アイデアかと思うが。 町長 復興はここ2年が正念場だと思います。最高執行責任者の判断、実行、あるいは指揮命令系統を強固なものがより必要であるとの判断です。 高野 進議員 副町長2人体制の役割分担はどのようなになるのか。 町長 一人は町政全般にかかわること、もう一人は特に事業部担当という考えも出てくると思います。条例制定した後に、人選の中で考えていく問題かと思えます。



審議中の議会



議席15番
高橋 晃 (南町北)
教育福祉常任委員会



議席8番
渡邊 重益 (野地)
教育福祉常任委員会

新しい議員を紹介します

6月定例会では去る5月18日に行われた町議会議員補欠選挙で選出された議員2名の議席の指定と、常任委員の補欠選任を行いました。

吉田大谷地・南河原地区 災害公営戸建住宅の購入契約を可決



戸建災害公営住宅 (吉田大谷地地区)

提案理由 吉田大谷地地区、南河原地区の戸建災害公営住宅12戸の購入契約を締結するものです。
▼事業名 平成26年度巨理町木造災害公営住宅(吉田大谷地地区・南河原地区)整備事業
▼契約金額 2億3544万円 (全員賛成で可決)

4月臨時会は4月25日に開催されました。町からは木造災害公営住宅(吉田大谷地地区・南河原地区)整備事業など議案5件、承認7件、報告9件が提出され、慎重審議の結果すべて原案どおり可決しました。

工業用地等造成事業特別会計補正

提案理由 舞台アグリイノベーション(株)の工場建設に係る用地取得測量費として600万円増額補正するものです。(全員賛成で可決)

鞠子幸則議員 今後、中野住宅28戸、上浜街道東住宅40戸、江下住宅17戸の戸建住宅を推進協議会が建設することになるが、具体的な受渡期限はどうなるのか。
復興まちづくり課長 荒浜中野住宅、上浜街道住宅、江下住宅を荒浜地区と巨理地区に分け、荒浜地区から契約をします。最終的に97戸全ての完成は11月末を目標にしています。

賛否討論

賛成討論 佐藤 實議員
復旧・復興のための大きな事業が次々と進められており、これからが正念場の時期に入るといふことである。副町長を2人制にすることにより、一層復興を加速させることは町民の方々にも理解いただけるものと考えます。よって賛成する。

賛成討論 鞠子 幸則議員
震災からの復旧・復興もあるが、町民の暮らし、福祉、教育を守り向上させるためにも町の役割は非常に大きい。そのため副町長を2人にして、町民の利益に立って頑張っていたいただきたい。そういう観点から賛成する。

反対討論 高野 孝一議員
前町長は震災後3年2カ月の間、副町長、職員と一丸となり、仮設住宅整備、いちご団地建設、文教施設の復興、災害公営住宅の整備等の復旧・復興にひた向きに取り組んできた。これまでも、今さら副町長を2人にする理由は全く見当たらず、町民の理解も得られない。以上のことから反対する。

反対討論 熊田 芳子議員
少子高齢化が本町にもひしひしと迫ってくる中、財政難が非常に懸念されることである。副町長を増やさずとも、課長や専門官といった優秀な人材がいる。以上の点から反対する。



荒浜中野地区災害公営住宅

の補助金を受けるため工場建設部分の用地を先行取得したいという申し出があり、土地の売買契約を締結するものです。
▼事業名 巨理中央地区工業団地企業誘致事業
▼所在地 逢限高屋字堂田128番3 外1筆
▼面積 22,827.56㎡
▼契約金額 3億3099万9620円 (全員賛成で可決)

人権擁護委員

提案理由 人権擁護委員2名の任期が平成26年9月30日をもって満了となるため
武藤 育子氏(再)
長門 光一郎氏(新)
が推薦されました。任期は平成29年9月30日までとなります。

物品購入契約の締結について

提案理由 荒浜中野地区の戸建災害公営住宅28戸の購入契約を締結するものです。
▼事業名 平成26年度巨理町木造災害公営住宅(荒浜中野地区)整備事業(復交)
▼請負業者 一般社団法人巨理町木造災害公営

住宅建設推進協議会 契約金額 4億9032万円

受渡期限 平成26年10月31日 (全員賛成で可決)
土地売買契約の締結について
提案理由 舞台アグリイノベーション(株)から国



舞台アグリイノベーション工場

町政のここが聞きたい

「一般質問」は町長に対し、将来に向けての考えなどをただ質すものです。今回は9人の議員が登壇し行いました。

鈴木邦昭議員 9P

- ・防災、減災対策について

小野一雄議員 10P

- ・私道整備補助金 交付申請をさかのぼっては
- ・学力テスト 実施要件の主な改正点はなにか

佐藤アヤ議員 11P

- ・メタボ、予備群対策は
- ・学校で町職員が出前講座を行っては

高野 進議員 12P

- ・交流センター 亘理駅西に設置しては
- ・災害義援金の支給はいつか

佐藤 實議員 13P

- ・鳥の海湾の緩衝緑地整備は

百井いと子議員 14P

- ・震災からの本町の観光施策は

鈴木洋子議員 15P

- ・農業経営安定化の支援策は
- ・農業後継者確保の施策は
- ・農業用水路・排水路の整備計画について

鞠子幸則議員 16P

- ・子育て支援をどう進めるのか
- ・高齢者福祉の充実について

安藤美重子議員 17P

- ・土砂災害に対する安全対策は
- ・男女共同参画事業の推進は

町内在住の外国人対応の防災対策は

安全確保に努める



鈴木邦昭議員

問 本町に在住する外国人に対し、防災マップ、行動マニュアルは作成されているのか。

町長 今後、国際交流協会等との協力を得ながら、使用言語を含め、ニーズ調査をし、見やすく理解しやすく作成します。

再質問 本町の外国人対応防災計画では避難場所や避難経路の標識はピクトグラム（絵文字）を活用する必要があるが現況は。

町長 避難場所を覚えていただくため、また外国人の命を守るため、分かりやすいピクトグラムを設置します。

問 本町に在住する外国人の方々に防災講習会を実施したのか。

町長 本町在住の外国人

の方々に対する防災講習はまだ行っていないですね。地域と町、関係団体が連携協力し、外国人の方々の安全確保に努めます。

避難所となる学校にマンホールトイレの設置について

問 大規模災害による避難所生活で問題となるのがトイレ不足である。避難所となる学校にマンホールトイレを設置する考えはあるか。

町長 避難所に指定する町内小中学校の敷地内にはマンホールがありません。周辺の道路に点在しているため安全性、利便性の面から設置が困難な状況にあることは、前回質問をいただいた際にも回答しています。

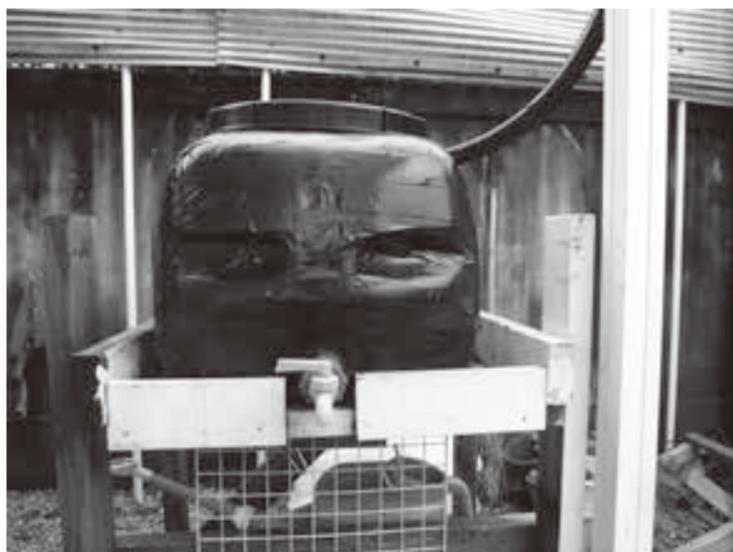
再質問 前町長は国土交通省と協議を重ねながら検討すると答弁したが。

総務課長 災害時の協定、物資の協定を各団体と結んでいますので、3年前の時より早く仮設トイレを設置できる予定です。そちらを使うのが現実的です。

雨水の有効利用について

問 国では雨水貯留タンクを新設する家庭等を対象に地方自治体を実施する助成制度に対し、財政支援を行うとあるが本町の取り組みは。

町長 国からの財政支援と近隣市町の動向を見ながら検討します。



雨水用タンク



小野 一雄 議員

再質問 弁護士は持分の2分の1以上の同意があれば補修できると述べているが、

変更は管理の中でできることになっていますが、町の弁護士と相談し、よい方法がないか検討します。

都市建設課長 共有物の

交付申請をさかのぼっては

交付条件が整っていれば対応

私道整備補助金

問 東日本大震災で被害を受けた私道整備補修の交付申請をさかのぼってできないのか。
町長 平成26年4月1日より前に補修を行った場合でも交付条件が整っていれば対応します。
問 私道等の整備は全ての権利者の同意が必要なのか。
町長 交付要綱により、当該道路の敷地の所有者、その他の権利を有する者の同意がない場合は、事業補助金の交付対象にはなりません。



震災で被害を受けた私道（長瀬浜区）

実施要件の主な改正点は

学校名の公表を可能にした

学力テスト

問 実施要件が改正されたが、主な改正点は何か。
教育長 一つは、市町村教育委員会の判断で、実施要件に基づき学校名を明らかにした調査結果の公表が可能になりました。
二つ目は、都道府県教育委員会が各市町村教育委員会の同意を得た場合に、学校名を明らかにした調査結果の公表が可能になったことです。
問 学力アップの施策や取り組みについて伺う。
教育長 各教職員の指導力と授業力アップが非常に大切であると考えています。各種研修会等に積極的に参加できるように、研修情報の提供に努めていきます。

メタボ・予備群対策は

保健師、栄養士が個別指導を行い対応

問 本町の平成24年度特定健診の結果では、メタボ該当者18・5%、予備群14・5%となっており、予備群の方は県の平均を上回っている状況である。本町のメタボ対策の取り組みは。
町長 町の保健師と栄養士が、メタボ該当者および予備群の方の中で、診療を受けていない方を「積極的支援者」と「動機付け支援者」に分け、個別指導を行っています。
再質問 本町の保健師と栄養士は合わせて11人である。保健師一人が受け持つ町民割合は、県内では極めて高い状況である。今後、外部委託をして、特定保健指導を行っているか。



佐藤 アヤ 議員



町長 今後検討していきます。
問 小中学校の中で肥満傾向の児童・生徒の実態について本町の食育指導の取り組みは。
教育長 平成25年度の肥満傾向児は、全国平均で7・2%、宮城県で9・8%、本町では12・1%となっています。また中学生でも全国、県の平均を上回っています。食育指導については、学校だけでなく、家庭に対する啓発活動も重要と考えています。
【肥満傾向児】標準体重より20%以上の割合

学校で町職員が出前講座を行っては

学校と調整を図って対応する

がん教育について

問 本町の児童・生徒に「ふるさと道理」をもっと知ってもらうため、町職員がデータ等を活用し、出前講座を行ってはどうか。
教育長 本町で用意されている出前講座のメニューがありますので、各学校と調整を図り、要望を聞きながら対応します。
再質問 出前講座のメニューに今後、小中学校を対象としたメニューを作る考えはあるか。
学務課長 メニューの変更は可能なので、今後検討していきます。
問 国民の二人に一人ががんになる時代である。子どもたちにもがん教育を推進していくべきと考えが。
教育長 健康保持の増進をする上で、特に生活習

慣病などを含めながらがん予防教育を行っています。
再質問 県では、小中学校におけるがん教育の出前講座を行っているが、本町でも行っているかどうか。
教育長 学校の実情に配慮し、出前講座を受け入れる余地があるか、確認してみます。



巨理駅西に設置しては

住民の方々と話し合いをしていく。現在は白紙

交流センター

問 震災で世帯、人口分布が大きく変化した。南町から新井町の旧道沿いと国道6号沿いが震災後に3%増えた。この点を踏まえ、公共ゾーン予定地についてどう考えるのか。

町長 国・県と協議し、地権者の理解と協力をいただき、用地を取得した経緯があります。巨理・逢隈・吉田・荒浜地区の中心にあり、最適の場所と思っています。

問 新たな跨線橋や地下道整備の考えはないか。

町長 巨大な予算が伴うことなので、財政状況を見据えていきます。

町長 国・県と協議し、地権者の理解と協力をいただき、用地を取得した経緯があります。巨理・逢隈・吉田・荒浜地区の中心にあり、最適の場所と思っています。

問 現役場庁舎地に交流センター(支所)を配置する考えは。

町長 支所は現在、交流センターという名称で呼ばれています。住民の方々の利便性の観点から、役場庁舎移転と並行し、皆さんと話し



役場仮設庁舎

災害義援金の支給はいつか

配分委員会で決定後、昨年と同時期に支給したい



旧館仮設住宅

問 義援金は3月末現在で町受付分残が578万円あり、日赤と県受付分は1億6178万5千円が本町に示されている。早急に支給してはどうか。

町長 県の災害義援金配分委員会は7月下旬に開催が予定されています。町の受付分についても町義援金配分委員会に諮ったうえで県と合わせて支給したいと考えています。



鳥の海湾の緩衝緑地整備は

県と町 TP5Mで協議中

問 阿武隈川沿いの旧一丁目から三丁目までの県道の拡幅により宅地が狭くなる。生活再建を希望する被災者に対する支援は。

町長 国・県と連携し、個別の用地交渉に同行しながら、地権者や地区の方々から要望を聞き、町が実施すべき点には誠意を持って対応します。

問 荒浜地区災害危険区域外の市街地等の土地利用計画や実施計画の検討は。

町長 災害復旧にとどまらず、本町の将来像を描き、新総合発展計画、都市マスタープランに基づき、用途地域の変更や、さまざまな復興関連事業を現在進行中です。

問 あぶくま区内で、空き地になっている土地の有効活用は。

町長 鳥屋崎三丁目線の拡幅整備と周辺の公共施設の整備状況により現在、災害危険区域内の整備を優先させ、その状況を見極めて当該地域の復興を進めていくべきと考えています。

問 鳥の海湾緩衝緑地計画と県道荒浜港今泉線の二線堤荒浜地区側の盛土、胸壁工事の状況は。

町長 港町周辺の鳥の海湾緩衝緑地整備は県がTP3・6m、町ではTP5・0mで整備することを要望しており、県と協議中です。

問 農振農用地の見直しをして、震災後のまちづくりのビジョンを町民の方々に示し、計画を早急に策定することにより再建未決定の被災者に有効

町長 農振農用地の見直しを含めて、同時並行で検討していきます。



鳥の海湾緩衝緑地整備計画地

町長 住民ニーズの把握に努め、総合的、体系的に取りまとめ、特に東日本大震災を踏まえ作成し、本町のまちづくりにとって重要な位置付けになり、特に国土利用計画は本町全域の土地利用計画の指針となり、農振農用地の見直しを含めて、同時並行で検討していきます。

農業経営安定化の支援策は

国の交付金事業を活用する



鈴木洋子議員

問 農業経営が困難である農家への支援策は。

町長 被災した農業施設の復旧のため、資材導入事業を行い、復興交付金事業などを活用し、農業機械施設の貸与事業に引き続き取り組んでいきます。

問 農業を通して本町を知ってもらうための農業ホームステイを行ってはどうか。

町長 農業ホームステイは今後積極的に取り組みたいと考えています。その際には受け入れる農家の方と相談しながら働きかけていきます。



野地ミニライブラリースセンター

農業後継者確保の施策は

農業の重要性や魅力を伝える

問 後継者の有無は基本的に個人の問題であるが、基幹産業である農業だけに看過できないことである。行政としての施策はあるのか。

町長 町では農業の持つ重要性や魅力を伝えられるよう、小学生に米や大豆、野菜等の作付と収穫体験を支援し、農業に興味を抱いてもらい、将来の就農に向けてPR活動を実施しています。

農業用水路・排水路の整備は

今後整備することも検討

問 ほ場整備から外れた農地で除塩作業が終わり荒れ放題になっている所があるが、今後の計画は。

農林水産課長 農地復旧を行い、原形復旧は完了したのですが、機能が悪いのであれば今後整備することも検討していきます。

震災からの本町の観光政策は

わたり温泉鳥の海を起爆剤とする



百井いとし議員

問 国指定三十三間堂官衙遺跡、県指定有形文化財伊達成実公御霊屋を含めた歴史的遺産を本町の観光とどのように結びつけるのか。周辺の土地環境も含めて町の考えを伺う。

町長 三十三間堂官衙遺跡は発掘調査が完了し、26年度に成果報告書の作成を行い、27年度から整備計画に入りますので、それらの整備が終了した後に、観光ルートに取り入れるよう検討していきます。

伊達成実公御霊屋は伊達家の中でも歴代の墓所がそろっているのは大雄寺だけであると認識しています。いずれにしても本町にとりましてこの2

つの史跡は貴重な史跡という位置づけで考えています。

問 東日本大震災により、仙南沿岸地域名巨観光圏が発足したが、整備計画はどこまで進展しているのか。

町長 名取・岩沼・巨理・山元の2市2町と観光物産協会で構成される仙南沿岸地域名巨観光圏が、平成24年度末に整備計画を作成しました。その中でグランドデザインと事業戦略を構築し、集客交流ビジネスとして完成させる計画です。しかし、2市2町の中で見解の相違があり、協議会としてはなく、それぞれの自治体で実施している状況です。

問 地域再生としての観光の町、巨理を創造するための具体的な政策は。

町長 秋にはわたり温泉鳥の海を一部再開し、水産センターもオープンします。さらに被災した商

店の再生、集積を図った商業施設も早期に再開できるような計画しています。巨理町そのものをパークタウンとして捉えることにより、町の産業、歴史、景観、人々の暮らしがその中に含まれます。

まず起爆剤としてわたり温泉鳥の海を再開させていきます。

問 持続可能な観光地づくりをするために有識者を含めた協議会を発足させてはどうか。

町長 町の総合発展計画の中で学識経験者を含めた委員を選任し、検討していきます。



伊達成実公御霊屋

土砂災害に対する安全対策は

随時パトロールで確認



安藤 美重子 議員

問 6月は土砂災害防止月間であるが、町には土石流危険区域と急傾斜地崩壊危険箇所がそれぞれ25カ所ある。住民に対しての周知方法は。

町長 ホームページ、防災マップ、広報紙に掲載し、注意喚起を図っています。

再質問 本人、区、自主防災組織に周知しているのか。

町建設課長 地域の防災組織には周知して協議しています。

問 民家の近くに「危険箇所」と明記した看板を設置しては。

町建設課長 県と協議をして検討します。

問 安全対策の取り組みは。

土砂災害にはこんな前兆現象があります！



町長 県と合同でパトロールし、危険度の進行状況を確認するとともに、避難場所・避難経路の点検を行っています。周辺住民にはチラシを配布して被害の防止や、防災知識の普及を図っています。

豪雨等が予想される場合は随時パトロールを実施し、万一の場合はただちに避難勧告を行い、住民の安全を図ることとしています。

男女共同参画事業の推進は

新たに5年間の計画を策定して推進



みんなの集い

問 町では男女共同参画の基本計画を策定しているが進捗状況は。

町長 平成22年度から27年度までを計画期間として、4点を基本目標に各種施策に取り組んでいきます。審議会等委員の女性登用比率は25年度末で17・1%と微増しています。

問 意識改革事業は具体的にどのような事業か。

町長 「町民のつどい」やワークショップ、講演会等を行っています。

問 男女共同参画推進委員会

委員会の開催は。

町長 昨年度は実施していません。今年度は人選も含めて検討しています。

再質問 27年度以降はどうするのか。

町長 今後の復興まちづくりには、男女共同参画社会の形成が不可欠です。あらゆる分野への女性の参画や地域社会の理解と関心を高めながら、新たに5年間の計画を策定し、各種事業を推進していきたいと考えています。

子育て支援をどう進めるのか

待機児童の解消に努める



鞠子 幸則 議員

問 今後、子育て支援をどう進めるのか。

町長 子育て支援については、子どもは町の宝であり、子どもが健やかに育つ環境づくりは、町の重要な施策です。子どもたちの笑顔があふれるまちづくり、安心して産み育て、若者が定住できる環境づくりは活力ある町、豊かな町の形成に欠かせないと考えています。

まず第一に、これまでも進めている保育所待機児童の解消に取り組みとともに、低年齢児のための家庭的保育の推進、新たな制度の小規模保育所や認可保育所の整備充実を図りたいと思います。また、各児童福祉施設



仮設の荒浜保育所

における地域との交流、高齢者などの世代間交流、小学校などの交流もさらに積極的に進め、ファミリーサポートセンター開設による町民協力による子育て環境の充実を図りたいと思います。

ファミリーサポートセンター事業
子どもを預けたい方と預かることができる方の要望をマッチングさせ、研修を受けた者が保育を行う事業

高齢者福祉の充実について

元気な高齢者づくりに取り組む

問 高齢者福祉の充実を具体的にどう進めるのか。

町長 高齢者福祉については、町民の4人に1人が65歳以上の高齢者であり、ますます高齢化比率が高まっており、要介護認定者も増えています。平成24年度から26年度までの第5期老人保健福祉・介護保険事業計画では、可能な限り住み慣れた地域において住み続けることができるように特別養護老人ホームと小規模多機能事業所の施設整備や介護予防に取り組んでいます。今後においても生きがいを持ち、元気な高齢者づくりのための健康づくりや認知症をはじめとする介護予防の推進、生きがいづくりや社会参加の推進に取り組むとともに、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう地域包括ケアシステムの構築を進めたいと思っています。

議会を傍聴しませんか

◆ 次の定例会は

9月4日(木)～9月19日(金)の予定です。

そのうち一般質問は9月8日(月)、9日(火)を予定しています。

役場仮設庁舎2階大会議室で行われますので、お気軽にお越しください。

引き続き「議員の出前懇談会」募集中!!

町民グループや地域の要請等により、議員が直接出向き議員の考えや議会運営、さらに町づくりの課題などについて話し合い、住民の意見を議会運営および町政に反映させていきます。

●利用できるのは

10人以上の町民の出席が見込める団体・グループ

●懇談会のテーマ

まちづくりに関することなど

●開催方法

日時・場所についてはご相談に応じます。

詳しくは 巨理町議会事務局 電話 0223-34-0506
<http://www.town.watari.miyagi.jp/>

議長交際費を公開します

議長が議会の対外的活動をするために要する経費を議長交際費といいます。各団体の総会、式典の会費が主なものです。

| 4月分 | | | 5月分 | | | 6月分 | | |
|------|------------------------------------|---------|------|-------------------------|--------|------|--|---------|
| No. | 内容 | 支出金額 | No. | 内容 | 支出金額 | No. | 内容 | 支出金額 |
| 1 | エイムカイワ巨理セントラル工場落成記念祝賀会祝儀 | 10,000円 | 1 | 若柳流翠修会40周年チャリティーおさらい会祝儀 | 3,000円 | 1 | 巨理地方町会定期総会会費 | 5,000円 |
| 2 | 巨理地方町監査委員協議会懇親会会費 | 5,000円 | 2 | 2014原水爆禁止国民平和実行進賛助金 | 5,000円 | 2 | 四方山観光開発協議会懇親会会費 | 5,000円 |
| 3 | 愛知県岡崎市視察来庁時お茶代 | 2,980円 | 計 2件 | | 8,000円 | 3 | 元巨理町議会議長逝去弔慰金、弔電代、花環代 | 32,041円 |
| 4 | 船岡駐屯地創立55周年および第二施設団創隊53周年記念式典祝賀会会費 | 3,500円 | | | | 4 | 巨理山元会例会会費 | 10,000円 |
| 5 | 巨理町災害防止協議会定期総会会費 | 5,000円 | | | | 5 | 日本青年会議所東北地区宮城ブロック協議会第44回宮城ブロック大会inあぶくま式典祝儀 | 3,000円 |
| 6 | 巨理名取地区市町議会連絡協議会懇親会会費 | 20,000円 | | | | 計 5件 | | 55,041円 |
| 計 6件 | | 46,480円 | | | | | | |

調査報告と町への提言

委員会調査

子ども子育て支援について

教育福祉常任委員会



東日本大震災から三年三ヶ月が経過したが依然として不自由な日常生活を送っており、子どもたちの精神的、身体的状況が心配される。平成27年4月から国の子ども子育て支援制度が始まる。こうした環境の変化を踏まえ、子ども子育て支援について調査した。

被災した吉田保育所・荒浜保育所親の役員会との懇談会における要望事項として、母子・父子家庭が増える中、「夜7時以降も子どもの面倒を見てもらえる所があればよい(ファミリーサポートセンター)」、「病児保育をしてほしい」、「子ども医療費制度を拡充してほしい」など多くの意見が寄せられました。共通意見としては、「小学校のそばに保育所があると安心できる」とのことであった。

これらの要望を踏まえ、本町においてもより一層子育てしやすい環境づくりに取り組むことが求められる。

議会の動き

| | |
|----------|-----------------------|
| 4月3日 | 巨理地方町議会議長会定期総会 |
| 4月4日 | エイムカイワ(株)工場完成に伴う祝賀会 |
| 4月16日 | 全員協議会 |
| 4月22日 | 全員協議会 |
| 4月23日 | 南部ブロック議長会議 |
| 4月24日 | 巨理名取地区市町議会連絡協議会定例会 |
| 4月30日 | 吉田大谷地区木造災害公営住宅工事安全祈願祭 |
| 5月27～28日 | 全国町村議会議長会町村議会議長副議長研修会 |
| 6月2日 | 宮城県町村議会議長会臨時総会 |
| 6月5日 | 四方山観光開発協議会総会 |
| 6月13日 | 全員協議会 |
| 6月18～23日 | 第30回巨理町議会定例会 |

※このほかに議会運営委員会、各常任委員会等を開催しています。

私もひとこと

身体に良いことをしましょう



大場 洋子さん
(北城東 67歳)

老人会活動の現状について



伊東 隆さん
(下郡 78歳)

私は、運動支援地域サポーター養成講座を受講し、特定健診後の運動支援サポーターをしている自主グループの一員です。ダンベル体操を中心に音楽に合わせたリズム体操、バランストレーニング等楽しい運動をした後は、健康講話で「食と栄養のバランス」を勉強し、実践している最中です。

私たちは体育館のホールや和室を利用し運動していますが、屋外においても北欧生まれのノルディックウォーキングをしています。2本のポールを使うことで、足腰への負担が軽く、上半身も鍛えられる非常に人気のあるスポーツです。



震災から3年が過ぎ、地域の「絆」の大切さを痛感しながら仮設での運動支援をしています。なんとといっても「心と体の健康」があれば次のステップアップにつながると思います。

高齢化社会の中で、健康保持と増進を図るためにも私たちと一緒にいい汗をかきましょう。

老人会活動に参加してから10年近くになります。最近になって歴史ある老人会活動が年々退潮傾向になっており、先きが憂慮されます。

その理由は入会される方が少ないこと、会長になる方がいないことです。中には会長が決まらず、既存の会が消滅してしまっただけの例もあります。

こうしたことは老人会の存亡にかかわる重要問題であり、行政区会の裁量に委ね、区会長経験者を老人会の会長に就ける慣行をつくることを提案します。

一方、老人会そのものは組織力の弱い団体であり、町、行政区会からの支援を受けています。で、これに伝えるため、まちづくり協議会、社会福祉協議会などと連携し、交通安全週間への参加、低学年児童の登下校時の見守り、独居老人などへの慰問などのボランティア活動を行い、老人会としての社会的存在を認めていただければ、さらに努力していきたいと思えます。



編集後記

稲の発育が順調で、緑の輝きがまばゆい季節となりました。今回は新しい町長が就任され、初めての定例会となりました。

また、6月定例会では土曜、日曜に一般質問を行う休日議会を開催し、多勢の方々が傍聴にいらつやいました。

これからも町民の皆さまに親しまれるように、旬の紙面づくりと、わかりやすい議会だよりを目指していきます。

(Y・K)

議会広報常任委員会

- 委員長 佐藤 正司
- 副委員長 百井いと子
- 委員 熊田 芳子
- 委員 鈴木 邦昭
- 委員 渡邊 健一
- 委員 高野 進

議会に関する詳しい内容は亘理町のホームページからご覧いただけます。

<http://www.town.watari.miyagi.jp/>

